

# 「海上起重作業管理技士」講習

## 受講願書等の記入について

### 1. 申請書—1(受講願書)

- (1)※整理番号、※受講番号の欄は、記入不要です。
- (2)受講希望地の欄は、本人が希望するいずれかの会場を記入して下さい。
- (3)専門船団の欄は、講習の手引きの資格対象船団と構成に記載されている10船団の内から受講申請者が主に専門として乗船している作業船団名を記入して下さい。
- (4)会員、非会員の区分が判らない場合は、協会 HP「海技協とは 4. 会員情報」会員名簿をご確認下さい。
- (5)連絡先の欄は、本人に確実に連絡がつく宛先に○印を付けて下さい。認定証と資格者証の送り先となりますので、本人に確実に渡る宛先として下さい。

### 2. 申請書—2(受講料払込金受領証(写)貼付)

- (1)受講料払込金受領証(写)貼付の欄には、郵便局備付けの「払込取扱票」で受講料の払込みをしたうえで、「振替払込請求書兼受領証」の写しを貼付けて下さい。  
なお、「払込取扱票」の通信欄には、海上起重作業管理技士講習受講と記すとともに、「振替払込請求書兼受領証」のご依頼人欄には、会社名と受講申請氏名を記入(1人一枚)して下さい。

### 3. 申請書—3(海上作業実務経歴書)

#### 3—1 一般事項

- (1)受験資格の適否を審査する様式です。実務経験年数が不足の場合は受講できません。
- (2)実務経験年数は、作業船の乗組員として乗船し、海上での土木工事及びしゅんせつ工事に従事した期間の合計を指します。本年5月31日までを対象とします。
- (3)河川、湖沼、ダム等の淡水域での作業船を用いた土木工事及びしゅんせつ工事も実務経験年数の対象とします。

#### 3—2 記入詳細

- (1)作業期間: 工事施設名毎に作業開始から作業終了までの期間を記入して下さい。

○年度をまたぐ工事については、各年度に期間を振り分けて記入して下さい。

○同時期に工事を掛け持ちされている場合は、期間がダブらないように工事を振り分けて記入して下さい。

- (2)作業船団: 作業時に乗船した専門船団名を記入して下さい。
- (3)作業場所: ○○港、○○漁港等を記入して下さい。
- (4)工事施設名: 水域施設(航路、泊地等)、外郭施設(防波堤、離岸堤等)、係留施設(岸壁、物揚場、棧橋等)等を記入して下さい。
- (5)作業内容: 打込作業(鋼管杭、鋼矢板)、据付作業(ケーソン、消波ブロック、被覆ブロック、根固ブロック等)、地盤改良作業(深層混合処理、サンドコンパクション等)、浚渫作業(航路、泊地、床堀等)等の作業名と施工数量を記入して下さい。  
例) 打込作業: 鋼管杭φ1,000mm×L40.0m、据付作業: ケーソン 1,500t、消波ブロック 40.0t、浚渫作業: 航路-14.0m、土量 200,000 m<sup>3</sup>、地盤改良作業: 深層混合処理(改良深度-30.0m)
- (6)作業上の立場: 船長、副船長、機関長、甲板長、甲板員等乗船時の職名を記入して下さい。

- (7)発注者又は元請会社名:工事受注先の名称(元請の場合は発注者名、下請の場合は元請会社名)を記入して下さい。
- (8)所属会社名:受講申請者が作業時に所属していた会社名を記入して下さい。
- (9)建設工事の種類:各作業期間の作業内容について、該当する工事(土木工事又はしゅんせつ工事)に○印を付けて下さい。
- (10)経 験 年 数:左の欄に、各工事の作業月数を記入して下さい。  
右の欄に、作業年数を記入して下さい。

○経験年数は、年度単位(当年4月～翌年3月の間)での集計となります。

○各年度の作業月数の合計が6ヶ月以上の場合、

その年度の実務経験を(1年)としてカウントしますので、各年度の最終工事の欄に1年と記入のうえ合計して下さい。

○なお、経歴期間内で1年カウント出来なかった作業月数は、それぞれを合計して下さい。事務局で、12ヶ月で割り戻して年換算します。

例) 15ヶ月(合計月数)÷12ヶ月=1年+3ヶ月

- (11)実務経験年数:受講資格要件として、資格対象船団に乗船し5年以上の海上工事の実務経験が必要です。
- (12)海上作業実務経歴の証明;最終ページに受講申請者(自筆)、代表者の署名、押印をして下さい。

#### 4. 申請書-4(受講票)

- (1)希望受講地の欄は、本人が希望するいずれかの会場を記入して下さい。
- (2)※受講番号の欄は、記入不要です。
- (3)写真貼付欄の本人写真は、たて3.0cm×よこ2.4cmのサイズ、正面・無帽・無背景で胸から上を6ヶ月以内に撮影したものとします。なお、不鮮明なスナップ写真、サングラスの着用等本人確認しにくいものは無効とします。写真の裏面に受講希望地、氏名を書いて、貼付欄に貼り付けて下さい。

#### 5. 申請書-5(資格者証交付申請書)

- (1)※印欄(交付年月日、認定登録番号、有効期限)は、記入不要です。
- (2)写真貼付欄の本人写真は、たて3.0cm×よこ2.4cmのサイズ、正面・無帽・無背景で胸から上を6ヶ月以内に撮影したものとします。なお、不鮮明なスナップ写真、サングラスの着用等本人確認しにくいものは無効とします。写真の裏面に受講希望地、氏名を書いて、貼付欄に貼り付けて下さい。

#### 6. 申請書類送付及び受講票送付封筒

- (1)申請書類送付封筒(角形2号)の表面の端に「海上起重作業管理技士申請書類在中」と明示して下さい。また裏面には受講希望地を明記して下さい。
- (2)後日、同封された受講票送付封筒(長形3号)で、受講番号を振った受講票を郵送しますので、110円切手を貼り、住所(会社又は自宅)、宛名(会社名、受講申請者名)を明記して下さい。
- (3)複数名の申請書類をまとめて送付する場合でも、一人一封の申請書類として(1)の封筒(角形2号)詰めとして下さい。

※ 整理番号

※ 受講番号

## 「海上起重作業管理技士」講習 受講願書

私は、「海上起重作業管理技士」講習を受講したいので、関係書類を添えて申し込みます。

令和〇年 〇月〇〇日

氏名(自筆) 海上 太郎 印

一般社団法人 日本海上起重技術協会会長 殿

受講希望地	専 門 船 団
東 京	起重機船団

フリガナ	カイジョウ	タロウ
氏 名	(氏) 海 上	(名) 太 郎

生 年 月 日・年 齢
(西暦) 19××年 〇〇月 〇〇日生 年 齢 〇〇 歳

本 籍	神奈川 県
現 住 所	〒 100-0002 東京都大田区芝1-1-1 TEL 03-591-1111
所属会社名	(株)日本海上起重
会 員 区 分	(○) 会 員・( ) 非会員      どちらかの( ) 内に○を付けて下さい
会 社 所 在 地	〒 103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町1-3-8 ユースビル8F TEL 03-5640-2941
連 絡 先	( ) 住 所 宛・(○) 会 社 宛      どちらかの( ) 内に○を付けて下さい

受講料払込金受領証 (写)

振替払込請求書受領証	
口座番号	001107
支店番号	650669
記入者名	一般社団法人 日本海上起重技術協会
金額	千 百 十 万 千 百 十 円 00000
おなまえ	(株)日本海上起重 海上太郎
科 金	日 附 印
備 考	

記帳事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

この受領証は、大切に保管してください。

海上作業実務経歴書

作業期間	作業船団	作業場所	工事施設名	作業内容	作業上の立場	発注者又は元請会社名	所属会社名	建設工事の種類		経験年数	
								土木工事	しゅんせつ工事	( )作業月数	作業年数
自：H28年 6月 至：H28年12月	起重機船	〇〇〇港	防波堤	ケーソン据付2000 t ブロック (消波) 据付25 t	甲板員	(株)〇〇	(株)日本海上起重	○		( 7ヶ月)	} 1年
自：H29年 1月 至：H29年 3月	コンクリートミキサー	年度をまたぐ工事は、各年度に振り分けて記入	"	上部コンクリート 10,000m3	甲板員	(株)△△	(株)日本海上起重	○		( 3ヶ月)	
自：H29年 4月 至：H29年12月			岸壁	改良深度-30m	甲板員	□□(株)	(株)日本海上起重	○		( 9ヶ月)	
自：H30年 1月 至：H30年 3月	クレーン船	〇〇△港	航路	浚渫水深-14m 30,000m3	甲板員	(株)〇△	(株)日本海上起重		○	( 3ヶ月)	} 1年
自：H30年 4月 至：H30年 6月	"	"	"	"	"	"	(株)日本海上起重			( 3ヶ月)	
自：H30年10月 至：R 1年 3月	起重機船	〇△△港	防波堤	ケーソン据付1500 t ブロック (消波) 据付35 t	甲板員	(株)〇〇	(株)日本海上起重	○		( 6ヶ月)	} 1年
自：R 1年 6月 至：R 1年 8月	起重機船	〇〇港	"	ケーソン据付1800 t ブロック (被覆) 据付10 t	甲板員	□□(株)	(株)日本海上起重	○		( 3ヶ月)	
自：R 2年 5月 至：R 2年 7月	起重機船	〇〇△港	防波堤	ブロック (消波) 据付 25 t × 200	甲板員	□〇(株)	(株)日本海上起重	○		( 3ヶ月)	} 1年
自：R 2年10月 至：R 3年 3月	クレーン船	〇〇△港	航路	浚渫深度-10m 50,000m3	甲板員	(株)□〇	(株)日本海上起重		○	( 6ヶ月)	
自：R 3年 5月 至：R 3年 7月	起重機船	△△〇港	防波堤	ブロック (消波) 据付 25 t × 800	甲板長	□□(株)	(株)日本海上起重	○		( 3ヶ月)	} 1年
自：R 3年 9月 至：R 3年11月	起重機船	△△港	"	ブロック (消波) 据付 35 t × 500	甲板長	□〇(株)	(株)日本海上起重	○		( 3ヶ月)	
自：R 4年 1月 至：R 4年 3月	起重機船	〇〇港	"	ブロック (消波) 据付 50 t × 200	甲板長	(株)〇〇	(株)日本海上起重	○		( 3ヶ月)	} 1年

※年度(当年4月～翌年3月の間)の作業月数の合計が6ヶ月を超える場合は、その年度の実務経験を(1年)としてカウントしますので、各年度の最終工事の欄に1年と記入のうえ合計して下さい。

※経歴期間内で1年カウント出来なかった作業月数は、それぞれを合計して下さい。事務局で、12ヶ月で割り戻して年換算します。

海上作業実務経歴書

作業期間	作業船団	作業場所	工事施設名	作業内容	作業上の立場	発注者又は元請会社名	所属会社名	建設工事の種類		経験年数	
								土木工事	しゅんせつ工事	( )作業月数	作業年数
自：R 4年 5月 至：R 4年 7月	起重機船	△△港	防波堤	ブロック（消波）据付 25 t × 500	甲板長	□□(株)	(株)日本海上起重	○		( 3ヶ月)	}
自：R 4年10月 至：R 4年12月	起重機船	○△△港	防波堤	ブロック（被覆）据付 50 t × 100	甲板長	□○(株)	(株)日本海上起重	○		( 3ヶ月)	
自：R 5年 2月 至：R 5年 3月	起重機船	△△○港	防波堤	ブロック（消波）据付 25 t × 200	甲板長	(株)□○	(株)日本海上起重	○		( 2ヶ月)	
自：R 5年 4月 至：R 5年 5月	起重機船	○△△港	防波堤	ブロック（消波）据付 25 t × 400	甲板長	□□(株)	(株)日本海上起重		1年カウント出来なかった年度	( 2ヶ月)	}
自：R 5年 9月 至：R 6年 2月	起重機船	○△○港	防波堤	ケーソン据付 1200 t × 4 函 ブロック（消波）25 t × 100	甲板長	(株)○○	(株)日本海上起重			( 6ヶ月)	
自：R 6年 9月 至：R 6年11月	起重機船	○△○港	防波堤	ブロック（消波）据付 25 t × 1,000	甲板長	(株)□○	(株)日本海上起重	○		( 3ヶ月)	
自： 年 月 至： 年 月										( ヶ月)	
自： 年 月 至： 年 月									1年カウント出来なかった年度の月数合計を記入	( ヶ月)	
自： 年 月 至： 年 月										( ヶ月)	
実務経験年数：作業船の乗組員として乗船してから、本年5月31日までの実務経験年数（5年以上）								計		( 6ヶ月)	7年

※年度(当年4月～翌年3月の間)の作業月数の合計が6ヶ月を超える場合は、その年度の実務経験を(1年)としてカウントしますので、各年度の最終工事の欄に1年と記入のうえ合計して下さい。

※経歴期間内で1年カウント出来なかった作業月数は、それぞれを合計して下さい。事務局で、12ヶ月で割り戻して年換算します。

海上作業実務経歴に関する経歴の記載に虚偽がないことを誓約します。 氏名（自筆） 海上 太郎 印

以上の記載に相違ないことを証明します。所属会社代表者名 (株)日本海上起重代表取締役社長

管理 二郎 印

申請書－４

記入例

【注意事項】

1. 受講番号欄は、記入不要
2. 写真は、6ヶ月以内に撮影のもの
3. 写真の裏面に希望受講地と氏名を記入
3. 写真は、サングラス着用等受講者と確認しにくいものは無効

令和〇年度  
「海上起重作業管理技士」講習

受講票 協会用

受講希望地	※受講番号
東京	

フリガナ	カイジョウ	タロウ
氏名	(氏) 海上	(名) 太郎

勤務地 (連絡先)	会社名	㈱日本海上起重
	TEL	03-5640-2941

写真貼付欄 たて3.0cm よこ2.4cm 全面のリづけ
月 日撮影

令和〇年度  
「海上起重作業管理技士」講習

受講票 受講者用

受講希望地	※受講番号
東京	

フリガナ	カイジョウ	タロウ
氏名	(氏) 海上	(名) 太郎

勤務地 (連絡先)	会社名	㈱日本海上起重
	TEL	03-5640-2941

写真貼付欄 たて3.0cm よこ2.4cm 全面のリづけ
月 日撮影

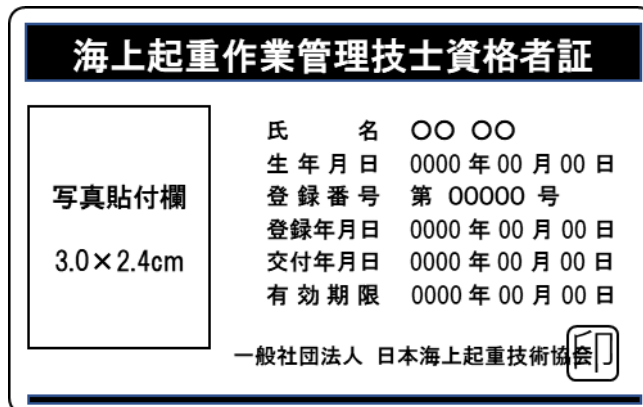
資格者証交付申請書

令和 ○ 年 ○ 月 ○○日

氏名	海上 太郎
生年月日	(和暦) 昭和 ○○年 ○○月 ○○日
現住所	〒100-0002 東京都大田区芝1-1-1 TEL 03-5911-1111
本籍	神奈川県
認定登録番号	※第 号
交付年月日	※ ○○○○年 12月 10日
有効期限	※ ○○○○年 12月 31日
所属会社	(株)日本海上起重
会社所在地	〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町1-3-8 ユースビル8F TEL 03-5640-2941
連絡先	( ) 住所宛・(○) 会社宛 どちらかの ( ) 内に○を付けて下さい


※印欄記入不要

※令和5年度から資格者証の記載内容、デザインが変更になりました。  
※写真貼付欄に本人の写真を貼り付けて下さい。



# 記入例

申請書送付用封筒表面  
(封筒サイズ：角形2号)

	1   0   3   0   0   0   2
作業管理技士講習 願書在中	一般社団法人 日本海上起重技術協会 行
	東京都中央区日本橋馬喰町一―三―八 ユースビル八階

申請書送付用封筒裏面  
(封筒サイズ：角形2号)

受講希望地	○ ○
連絡先住所	
受講者氏名	

受講票送付用封筒  
(封筒サイズ：長形3号)

切手を必ず貼って下さい	
110円切手	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
(受講者氏名)	連絡先住所

※封筒サイズ：角形2号 縦332mm×横240mm  
※封筒サイズ：長形3号 縦235mm×横120mm

# 記入例

## 海上起重作業管理技士講習「振込取扱票」

払込取扱票											
00		口座記号				口座番号 (右詰めで記入)				金額	
00		1107				650669				00000	
加入者名		一般社団法人 日本海上起重技術協会									
通欄		海上起重作業管理技士講習 受講									
ご依頼人		海上太郎									
〒103-0002		東京都中央区日本橋馬喰町1-3-8									
(株)日本海上起重		海上太郎 様									
(ご連絡先電話番号 00-0000-0000)		日附印									
裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) これより下部には何も記入しないでください。											

振替払込請求書兼受領証											
口座記号		001107				口座番号				650669	
加入者名		一般社団法人 日本海上起重技術協会									
金額		00000									
おなまえ		(株)日本海上起重									
ご依頼人		海上太郎 様									
日附印		日附印									
料金		円									
備考											
この受領証は、大切に保管してください。											